

## 第1期の取組

## 1 安定した雇用を創出する

- 雇用環境整備  
女性の就労支援、起業・創業支援
- 雇用創出  
企業誘致、中小企業への支援・相談、商店街振興

## 2 新しい人の流れをつくる

- 子育て世代等に魅力ある住宅政策  
住替え・居住支援協議会の設置・運営
- 若者のまちづくり  
多摩市若者会議の設置・運営
- 新たな交流  
ふるさと納税を通じた来街促進
- シティセールス  
シティセールス戦略の策定、観光まちづくり協議会の設置

## 3 子育て・子育てをみんなで支える

- 子育てサービス  
保育環境の充実、学童クラブの充実
- 子育てを支え合う地域コミュニティ  
子育て広場の充実、ファミリーサポートセンター事業の推進
- 特色ある教育  
ESD、オンライン英会話授業の開始

## 4 いつまでも安心して暮らし続けられるまちをつくる

- 健幸都市(スマートウェルネスシティ)  
市民の健康寿命、多摩市板地域包括ケアシステムの構築
- 都市基盤の整備・維持更新  
多摩ニュータウン再生方針の策定・取組の推進
- 健幸を支えるネットワーク  
多様な学びやスポーツ活動、自主防災組織の支援

## 第2期に向けた方向性

## ◎改定の考え方

第五次多摩市総合計画第3期基本計画における、3つの重点課題と18の重点課題解決に向けた視点を踏まえた取組を推進していくことで、まちに活力を与え、市民一人ひとりが健康と幸せを実感できるまちを実現する。また、第3期基本計画に位置付けた施策をさらに具体的な事業等に落とし込んだ実施計画として第2期総合戦略を位置付ける。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、第3期基本計画で掲げた取組の中でも優先的に取り組んでいくものを示す。

## ○第五次多摩市総合計画第3期基本計画における3つの重点課題

- (1)超高齢社会への挑戦
- (2)若者世代・子育て世代が幸せに暮らせるまちの基盤づくり
- (3)市民・地域と行政との新たな協働のしくみづくり

## 〈参考〉国の基本目標

- 基本目標
- (1)稼ぐ地域をつくるとともに、安定して働けるようにする
  - (2)地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
  - (3)結婚・出産・子育ての希望をかなえる
  - (4)ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

## ○横断的な目標

- (1)多様な人材の活躍を推進する
- (2)新しい時代の流れを力にする

## 第2期での取組

## ※横断的な目標

## 目指す姿

## 1 多様な働く場・働き方を実現し、安心して働くことができるまちをつくる

- 雇用環境の整備  
事業承継、産学金官連携による起業・創業支援、
- 新たな働き方の実現  
職住近接、空き店舗の有効活用・マッチング、テレワークの推進
- 南多摩尾根幹線沿道の活性化

## 2 まちの魅力を高め、これを発信し、多摩市に関わる人を増やす

- 駅周辺拠点地区の活性化  
CMAによる多摩センター地区全体の活性化、聖蹟桜ヶ丘駅北地区区画整理に伴うまちづくり
- 企業・事業者との連携  
観光まちづくり協議会との連携
- シティセールスの推進  
コロナへの対応を踏まえた来街・定住促進

## 3 多摩市で産み、育てたいと思えるまちをつくる

- 母子保健・子育てしやすい環境の充実  
妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の充実  
保育環境・学童クラブの充実
- 特色ある教育の推進  
ESD、GIGAスクール構想の推進

## 4 ひとりでも安心して幸せに暮らし続けられるまちをつくる

- 市民自治の推進
- 永山駅周辺再構築ビジョンに伴う取組の推進
- 多摩NT再生ソフト事業の取組の推進
- 多摩市版地域包括ケアシステムの構築  
多機関協働による相談支援体制の早期の構築

多様な人材の活躍を推進する

○多様なステークホルダーと連携しながら課題解決

新しい時代の流れを力にする  
Society 5.0や5Gなど  
新しい技術の導入

健幸まちづくりのさらなる推進